

22日 高辻さんが旭日単光章を受章

高辻健司さん（本郷・88歳）が旭日単光章を受賞し、町長室で伝達式が行われました。

高辻さんは、昭和50年5月から3期12年、平成3年5月から1期4年、併せて16年にわたり町議会議員として奉職。昭和38年からは41年間にわたり町交通安全協会理事および会長を務めるなど、地方自治の振興発展に大きく貢献されました。

伝達式で高辻さんは、北海道胆振総合振興局地域創生部清水章弘部長から勲記と勲章を受け取りました。



24日 いながわ販売店が町に交互歩行器を寄贈

上厚真地区で福祉用具介護用品の販売を行っている、いながわ販売店（稲川幸一代表）が役場を訪れ、町にスモール交互歩行器1台を寄贈しました。

稲川代表は「高齢者の在宅介護支援のために広く活用してもらいたい」と話していました。

この歩行器は、町の貸し出し用備品として利用される予定です。



31日 厚真建設協会が花壇整備

厚真建設協会（鈴木英毅会長）が、厚真大橋たもと付近の花壇整備を行い、会員の17社約20人が参加しました。今年は、1つ増設し計8つの花壇を作成。重機を使い、枠付や土おこしを行った後、ベコニアやマリーゴールドなど8種類の花、約880株を植えていました。

鈴木会長は「町内外の人に楽しんでいただければ」と話していました。



31日 あつまを元気にする会花植え

あつまを元気にする会（池川徹会長）が、町商工会そばの敷地に所有している花壇で花の植栽作業を行いました。

当日は会員8人が参加。参加者は花壇の土をおこし、シートをかけた後、黄色とオレンジのマリーゴールド約350株を一つひとつ丁寧に植えていました。



11日 北海道新聞社2販売所と見守り協定を締結

町と北海道新聞藤井販売所、佐藤販売所が「地域見守り活動に関する協定」を締結し、総合福祉センターで協定式が行われました。

この協定は、住民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、各販売所と連携し、見守り体制の強化、地域福祉を向上するための活動です。

配達員が訪問先で、郵便受けに新聞がたまっているなど異変に気づいた場合に町や消防に連絡するなど、連携して、安否確認や緊急事態の対応を協力して行えるようになります。

宮坂町長は、「使命感をもって業務をしてもらえるのはありがたい。笑顔と温もりがしっかりと伝わっていくような地域づくりをこれからもめざしていきたい」と話していました。



14日 厚真町の今・昔を知るツアーを開催

町教育委員会主催の厚真町南部の今、昔を知る南部の発見ツアーが開催され、町民11人が参加しました。

北海道電力(株)苫東厚真発電所や新日本海フェリーターミナル、豊丘石油湧出地点など町にある施設や場所を巡り、参加者からは「厚真町に住んでいても知らなかったことをたくさん学ぶことができ面白かった」と感想を述べていました。

9月には第2弾として、北部を巡るツアーを予定しています。



20日 尾形アヤメさん100歳のお祝い

尾形アヤメさん（豊沢）が5月20日、満100歳を迎え、宮坂町長が祝福に駆け付けました。宮坂町長から「笑顔でいられるのは元気な証ですね」と声をかけられると、尾形さんは「ありがとうございます」とほほ笑んでいました。

尾形さんは大正6年5月20日、6人姉妹の5女として豊沢で出生。結婚後は、激動の時代の中、7人の子どもの育て上げました。

